

西暦 2026 年 5 月 7 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	総排泄腔遺残患者の長期予後と思春期以降の再手術に関連する因子の検討
研究責任者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 泌尿器科 藤本 幸太
研究期間	研究実施許可後～2031 年 3 月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	患者の長期予後を後方視的に評価し、特に思春期以降の再手術に関連する因子を明らかにすることを目的とします。1992 年 4 月～2007 年 3 月までで、当院で総排泄腔遺残と診断され、当院においてこれまでに治療を受けた総排泄腔遺残患者のうち、外陰形成術または腔形成術を施行され、その後の経過観察が可能であった症例を対象とします。
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	既存の診療情報(電子カルテ)より後方視的にデータを収集。患者背景として、診断名、出生年、初回手術時年齢、解剖学的特徴、手術術式、最終フォロー時年齢、フォローアップ期間、腎泌尿器を含む合併奇形の有無などを収集とします。術後経過として、月経関連症状の有無、留血腫等の合併症、婦人科的介入の有無、腎機能評価、排尿機能評価、CIC の有無、尿路感染症の有無などを調査します。
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。
個人情報の開示に係る手続き	本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の間合せ先までご連絡下さい。
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840 泌尿器科 藤本 幸太 電話 0725-56-1220 (代表)